


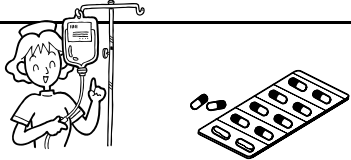





頸椎手術経過表 ()様 椎弓形成術

月日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院後手術前日まで	手術前日	手術当日(術前) " (術後)	
目標	身体的、精神的に安定した状態で手術を迎える事ができる。 ○手術についての説明の内容を理解できる。 ○不安な事、分からない事を伝える事ができる。			
処置・検査	<ul style="list-style-type: none"> ・入院生活についての説明をします ・循環器など必要な科の診察検査があります ・手術前後の説明をします ・技師による装具の採寸があります ・薬剤師より薬についての説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合、麻酔科の医師による術前診察があります ・手術室の看護師が病室に訪問します。 ・必要な場合、剃毛します ・手術の時に着用する弾性ストッキングの採寸をします ※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝排便がなければ坐薬もしくは、浣腸を行いません。 ・手術の15分～30分前になったら排尿をすませ、手術着に着替えていただきます ・血圧、脈拍、体温を測定します 	<ul style="list-style-type: none"> ・術後は同じ病室に戻る予定です ・主治医、看護婦による観察があります ・手術中に尿の管、創部からの血液や浸出液を出す管を入れて帰ってきます ・酸素吸入をしていただきます ・場合により痰が多ければ、吸引をすることがあります
点滴・薬		<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば下剤、眠剤を服用していただきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室に行く直前に医師の指示により筋肉注射をします ・午後からの手術の場合は、9時頃から点滴があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・抗生剤の点滴や、ビタミン剤などが入った点滴を行いません ・痛みがあれば、痛み止めの注射、薬又は坐薬等を施行します
活動	医師の指示がなければ、普段どおりお過ごし下さい <div style="text-align: center;">  </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチャーで手術室に行きます <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・上向きで、ベッド上安静となります。(翌日医師の許可が出るまで) ・下肢は自由に動かしてもよいです
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・普段どおりお過ごしください 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術前日は21時から絶食 24時から絶飲となります 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶飲食です <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・許可ができれば飲水できます
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースを記入し、入院時に看護師にお渡しください ・医師より手術の説明後、手術の同意書に記入し、看護師にお渡し下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・手術中、付き添いの方は、病室か3Fロビー又は、2Fのインフォームドコンセントルームでお待ち下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に医師より手術の結果の説明があります

※弾性ストッキングとは・・・圧迫圧の段階的な変化により血流を促すストッキングです。 深部静脈血栓症を防ぐ為に着用します。
 ※深部静脈血栓症・・・足の深部静脈にできた血栓によって、血液の流れが妨げられる病気です。足が急に腫れたり、赤紫色に変化します。
 肺塞栓症を引き起こします。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
経過	術後1日目	2日目～7日目	8日目～14日目 退院
目標	<p>○血圧、脈拍、体温が安定している。傷が感染をおこさず、抜糸ができる。 ○神経の症状が悪化しない。検査結果に問題がない。</p> <p>○痛みが軽度又ははない状態で過ごす事ができる。痛みを報告できる。 ○社会復帰に向け、身体的に、精神的に安定した状態で退院を迎える事ができる</p>		
処置・検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝採血をします ・ベット上でレントゲンを撮ります ・ガーゼ交換時創部の管を抜き、装具を着用します (創が大きい場合は1～2日後になります) ・尿の管を抜きます ・体を拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷口のガーゼは汚染が無ければ外しません。術後3日目に創を密封できるテープをはります。その後、著明な汚染が無ければ術後6日間ははずしません ・術後7日目、傷口の状態に問題が無ければ半分抜糸します ・術後3、7日目に採血と頸部のレントゲン検査があります ・術後7日目には頸部のCT検査があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8日目、傷口に出血や腫れが無ければ全て抜糸します ・9日目傷口を最終確認します ・10日目採血と頸部レントゲン、頸部MRI検査があります 
点滴・薬	<ul style="list-style-type: none"> ・抗生剤の点滴を手術後数日間、朝と夕方におこないます ・手術前に続けて服用していた薬を再開します ・痛みが強い時には鎮痛剤を頓服でお出します 		
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・装具を着け、医師の許可があれば歩行できます ・歩行が不安定な場合は、歩行器や車椅子を使用して下さい ・トイレは、洋式を使用して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間ソフトカラーを装着して過ごします ・術後4日目から医師の許可があれば、ソフトカラーを装着した状態で入浴します。初めての方は入浴中に注意する点を指導しながら看護師が介助します。問題なければ次回より一人で入浴して頂きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・7日目の頸部CTの結果に問題が無ければソフトカラーの着用が不要となります ・10日目の頸部レントゲン、MRIの結果問題が無ければ退院可能となります
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・昼より食事ができます 装具の影響で口が開きにくかったり、噛みにくい状態となっている為、食事の形態を変更させていただきます。慣れてきたら元の食事に戻しますのでおっしゃって下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段どおりにしてください 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・寝る前に頸部の清拭に伺います 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝る前に頸部の清拭に伺います 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師より退院指導があります ・退院薬がある方は薬剤師より服薬指導があります ・入院費概算 3割負担…約31万円

状態に応じ予定が異なる場合もあります。ご質問があれば医師、看護婦におたずね下さい。

3S病棟 担当医師・看護師